



中小製造業におけるSDGsの企業取組と 大学生向け説明要領の事例紹介

東邦産業株式会社 代表取締役社長

五十嵐 悠 介 様



海外進出の取組事例紹介

株式会社マルト長谷川工作所 代表取締役社長

長谷川 直 哉 様



新潟大学地域創生推進機構特任教授

深谷 清 之 特任教授
(当時)

令和5年1月31日(火)午後、第3回医工連携事業説明会として、「中小製造業における【SDGs】の企業取組と大学生向け説明要領の事例紹介」と「海外進出の取組事例紹介」をテーマに開催しました。これは、令和2年度から始めたSDGsに関する企業の取組への支援となる内容です。今回は第3回目になりますが、第1回目は、新潟大学特任教授深谷清之が講師を務め、SDGsに関する基礎的な内容を説明しました。第2回目は、メディアの委員である日刊工業新聞 編集委員の松木喬様にSDGsに関する新しい動向、とくにわが国の中小企業の事例をご講演いただきました。

令和5年度
第3回医工連携事業
説明会の開催(1月31日)



今回の説明会では、県内の大学で学生にSDGsに関する講演やアンケート調査等を実施されている東邦産業株式会社の代表取締役社長であり、新潟県で第1号となるSDGsビジネスコンサルタントに認定された五十嵐悠介様に企業の取組と大学生の意識調査のご紹介、もう1つは三条市の株式会社マルト長谷川工作所の代表取締役社長の長谷川直哉様に同社の取組と三条市、三条商工会議所等と連携しているベトナム進出に関する取組でのSDGsについてご講演いただきました。



東邦産業株式会社
代表取締役社長
五十嵐 悠 介 様



株式会社マルト長谷川工作所
代表取締役社長
長谷川 直 哉 様



五十嵐様の講演では、まず同社の取組についてご紹介があり、他の企業の事例、当然ですが業種が異なれば取組内容も変わりますし、着眼点も異なります。それらの事例紹介の後、県内の大学で講演会、説明会等を実施され、さらにSDGs就活という取組も実施されている中で、それらに関わった大学生の意識に関するアンケート調査の結果が披露されました。この結果、産業界、とくにこの講演に参加されている企業の社長、幹部の方々が想像するよりも、はるかに高い意識をSDGsについて持っていることが発表されました。その中で、五十嵐様が「当たり前のことが当たり前に見える、実現できる会社になろう」という言葉が印象に残りました。これは、五十嵐様の別の表現で「カッコをつけるのでは

なく、本当にホワイト企業になれば、今後生き残れない」との表現もありましたが、学生たちの意識を表す言葉と感じました。



長谷川直哉様のご説明では、まず行動制限が緩和され、海外の展示会が再開され、マルト長谷川工作所もいくつかの展示会に参加された際に見聞したSDGsに関する取組の紹介から始まりました。海外、とくに欧州では製品のパッケージなども細部にわたる部分で環境問題への意識がさらに高まっており、展示会の工作物もリサイクルを意識したものが利用されている、との説明がありました。また、そのような展示会で企業がどのような取組参加しているかを示すパネル等も多く展示されており、今後、中小企業といえども当然、SDGsに関する取り組みを求められるという状況が説明されました。その後、マルト長谷川工作所でのSDGsに関する取組が紹介されました。例えば、SNSの活用が行われており、Twitterの活用事例



が紹介されました。その他に小学生向けの取組なども紹介され、最後に同社の取組を漫画にした1冊の書籍にして3月から外部に販売する予定が発表されました。また、ベトナム進出のためのSDGsに関する取組に参加しているほかの企業の事例も併せて説明されました。

今回の説明会には、事務局を含め約30名が参加し、大学生のアンケート調査結果や企業の取組事例等に関心があることが感じられました。



真の強さを学ぶ。

新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

【医工連携広報誌】問合せ先
新潟大学地域創生推進機構ビジネスプロデュース室
bp1@ccr.niigata-u.ac.jp
<https://www.ircp.niigata-u.ac.jp/>

【燕三条医工連携コンソーシアム】

協同組合 三条工業会 三条商工会議所 燕商工会議所
三条市 燕市 三条信用金庫 協栄信用組合

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な社会の実現を目標とするSDGs達成に向けて、課題解決に取り組んでいます。

新潟商工会議所

【協力】日刊工業新聞社 新潟支局